

刑務所に教えに行つて
- 持続可能な社会は基礎教育から -

株式会社 開倫塾
代表取締役社長 林 明夫

1. はじめに

- (1) 開倫塾は、栃木県を中心に群馬県・茨城県に 46 校舎を展開する創業 30 年目の小学生・中学生・高校生を対象とする 2008 年度ピーク時塾生数 6646 名の学習塾です。
- (2) そんな開倫塾の塾長である私に、昨年 1 月に栃木市教育長より、栃木市にある栃木刑務所に基礎的な教科教育の指導のために開倫塾から講師を派遣してくれないかとの御依頼がありました。
私が学生時代に犯罪学や刑事政策を学んだことを教育長は覚えておられ、もしかしたら開倫塾で栃木刑務所からの依頼を受けてくれるかも知れないと思われたようです。
- (3) 私は、慶應義塾大学法学部法律学科で宮沢浩一先生のゼミ生として犯罪学と刑事政策を学び、いくつもの矯正施設を訪問し、「刑事政策への市民参加」を研究テーマにしておりました。女子刑務所では歴史のある栃木刑務所で基礎的な教科教育のお手伝いをさせて頂くことは、宮沢浩一先生の下で刑事政策を学ばせて頂いた者として、また、「刑事政策への市民参加」を研究テーマにした法学徒として名誉なことと考え、即受諾いたしました。
- (4) 開倫塾は、「日本経営品質賞」の地方版である「栃木県経営品質賞」の知事賞を 2002 年度に受賞した企業ですので、経営の基本理念として「社会との調和」を大切な価値観として持ち、「社会貢献活動の推進」を行っております。刑務所への講師派遣も、その一つと考えました。

2. 刑務所に教えに行つて

- (1) 栃木刑務所での最初の打ち合わせで、刑務所長はとても受刑者の教育に熱心な方でしたので、その情熱がひしひしと伝わってきました。また、教育担当の刑務官の方々の受刑者の更生に対する熱い思いがよく理解できましたので、必ず一定の教育成果を出さなければと私は決意。
- (2) 担当責任者に、塾長直轄の超ベテランの塾長室室長を任命。対象が 20 歳代から 70 歳代までの女性の受刑者と知ったので、指導者として開倫塾のベテラン講師を選任。1 名の派遣要請でしたが、十分な教育成果を出すために 2 名派遣。2 名の先生が慣れるまでの最初の半年は、担当責任者の塾長室室長も同行して指導に当たることを決めました。

(3)このようにして、2008年2月より対象受刑者6名への毎週1回2時間3か月コースの基礎学力養成講座がスタートし、1年半が経ちました。

ベテランとはいえ、刑務所での指導は初めての先生でしたので、事前の打ち合わせは毎回十分に行いました。また、2人の先生方の負担をできるだけ少なくし、毎週確実に指導に行ってもらえるよう教材や教具の作成はすべて開倫塾本部の塾長室のスタッフが一人ひとりの受刑者の学習の進度に合わせて行いました。

超ベテラン講師陣3名による、また、開倫塾塾長室事務スタッフの全面的な協力による「受刑者教育」がスタートしました。

(4)平仮名、片仮名の書き方や数の計算の仕方から、一人ひとりのレベルに合わせ指導はスタート。3か月の間に、社会に出てからの生活に困らないように読み・書き、計算を指導。道路標識も指導。新聞や図書室の本が読めるように、手紙が書けるようになるまで頑張ろうを合言葉にしています。「躰(しつけ)教育」の必要な受刑者もいますので、「躰」の中身である「美しい立ち居振る舞い」、「敬語表現を含む言葉遣い」についても積極的に指導。「あいさつ」、「おじぎ」の仕方も教えています。

(5)このような方法で3か月ではありますが指導を終えると、刑務所と相談の上、「3か月コース修了証」を修了式で手渡します。私や塾長室室長が修了証を手渡し、「よく頑張りましたね」と励ましの声をかけると、目に涙をためる受刑者もいます。

3. おわりに

(1)文字がよく読めず、計算がよくできず、道路標識も十分わからず、手紙もよく書けないまま、一度罪を犯し刑務所から社会に出た人が、働きがいのある人間らしい仕事に就ける可能性は極めて少ない。働きがいのある人間らしい仕事に就けなければ、刑務所にもどる可能性は極めて高いと私は考えます。

(2)だからと言って、必要な基礎教育を行うだけの十分なスタッフは現代の刑務所にはいないようにも思えます。

(3)ただ、世の中には、この状況をよく「理解」してもらえば受刑者の教育の担い手になってもらいたいと考える人は「山ほど」と考えます。持続可能な社会の形成の一環として、「受刑者への基礎教育」を「社会総がかり」で行うことを最後に提言させていただきます。

(社団法人 経済同友会 幹事)

* 本報告は、高井伸夫法律事務所事務所報マネジメント・ロー・レターのために書いた原稿をもとにしたものです。